

鹿病防第18号  
平成16年2月26日

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成15年度病害虫発生予察特殊報第1号について

県内において、新たに「モトジロアザミウマ(仮称)」*Echinothrips americanus* MORGANの発生が認められ、特殊報第1号を発表したので送付します。

なお、病害虫防除所ホームページ(www.jpnn.ne.jp/kagoshima)にも掲載しています。

---

## 病害虫発生予察 特殊報第1号

平成16年2月26日  
鹿児島県病害虫防除所

病害虫名 モトジロアザミウマ(仮称) *Echinothrips americanus* MORGAN  
作物名 ハイビスカス

### 発生確認及び発生状況

発生確認年月日：平成16年 1月26日

発生確認地：始良郡栗野町

発生状況：始良郡栗野町の鉢物生産者ほ場で、鉢物のハイビスカスの葉がかすり状になり落葉する症状がみられ、調査をしたところ、暗褐色のアザミウマの寄生を多数確認した。

農林水産省横浜植物防疫所に同定依頼した結果、*Echinothrips americanus* MORGANと確認された。

なお、本種は、平成11年に東京都小笠原村父島のインゲン、平成14年に愛知県豊橋市のシソ(オオバ)、平成15年に高知県須崎市のミョウガで発生が確認されている。

### 形態及び生態の特徴(参考資料1参照)

成虫：体色は暗褐色。前翅の付け根および中央が灰白色のため、成虫の前翅基部は白い線が入ったように見える。頭部、胸部、腹部の節間は赤みを帯びている。

雌成虫の体長は約1.6mm、雄成虫は約1.3mmである。葉の表裏に生息する。

幼虫：1齢幼虫は黄白色で体長約0.5mm、2齢幼虫は黄色で体全体が刺毛に覆われ、体長約0.7~1.2mmである。複眼は赤味を帯びる。

蛹：第1蛹、第2蛹とも葉上に生息。体色は白色で、太い刺毛を有する。

卵：卵は、長径約0.3mm、短径約0.2mmの俵型の乳白色で、葉脈沿いの葉肉の中に産み付けられる。

経過習性：卵から成虫までの生育期間は、20℃で33.9日、30℃で11.4日とされ、高温下であれば短期間に世代を繰り返す。

被害：食害によって葉がかすり状になり、ひどい場合は落葉する。寄生は葉の表裏でみられ、中・下位葉に多い。

加害植物：花き類では、ポインセチア、バラでの寄生が多く、食害も多い。また、施設野菜のキュウリ、メロン、ナス、トマト、ピーマンに成幼虫の寄生と加害が確認されている。

一方、キク、シクラメン、トルコギキョウ、カーネーション、コリウス、イチゴへの寄生はほとんどないとされている(愛知県農業総合試験場の放飼試験より抜粋)。

引用文献：伊藤 啓司・大野 徹(2003)：植物防疫 57：223~225

## 防除対策

- (1) 花き類(草本植物, 観葉植物)のアザミウマ類ではオルトラン水和剤の登録がある。  
また, 花き類(草本植物, 観葉植物)のヨトウムシ類で登録のあるコテツフロアブル, アファーム乳剤などで同時防除できる(別添参考資料2参照)。
- (2) 農薬は, 葉裏まで十分にかかるよう散布する。
- (3) ハウス周辺の除草を行うとともに, ハウスの開口部に防虫網を設置する。

## 参考資料 1



モトジロアザミウマ雌成虫  
(頭部, 胸部, 腹部の節間が赤みを帯びる)



ハイビスカス葉上の成虫  
(前翅基部の色が白いラインにみえるのが特徴)



ハイビスカス被害の様子(左 葉表, 右 葉裏)

## 参考資料 2

### 病害虫防除所

モトジロアザミウマ成虫薬剤感受性検定結果 (処理日 :2004年 1月29日 )

採集場所 :栗野町 (ハイビスカス)

数値は3反復の合計値

供試薬剤名	希釈倍数	供試虫数	処理 24時間後			供試薬剤の登録があるおもな作物
			死亡虫数 (頭)	死亡率 (%)	補正死亡率 (%)	
アフアーム乳剤	2,000	28	28	100	100	花き類 (草本) 観葉植物, ナス,キュウリ,トマト,ピーマン,メロン
スピノエース顆粒水和剤	5,000	30	30	100	100	ナス,キュウリ,トマト,ピーマン,メロン
オルトラン水和剤	1,000	30	30	100	100	花き類 (草本) 観葉植物, ナス,トマト
スタークル顆粒水溶剤	2,000	32	29	90.6	88.9	ナス,キュウリ,トマト,ピーマン
コテツフロアブル	2,000	31	28	90.3	88.5	花き類 (草本) 観葉植物, ナス,キュウリ,トマト,ピーマン
DDVP乳剤 50	1,000	32	31	96.8	96.3	ナス,キュウリ(露地),トマト, ピーマン,メロン
ハチハチ乳剤	1,000	29	29	100	100	ナス,キュウリ,トマト
トクチオン乳剤	1,000	30	30	100	100	バラ
アドマイヤーフロアブル	2,000	29	29	100	100	花き類 (草本) 観葉植物, ナス,キュウリ,トマト,ピーマン,メロン
無処理 (水)	-	38	6	15.0	-	-

水和剤には展着剤 (ベタリン A :10,000倍) を加用した。

検定は虫体浸漬法により,成虫を内径2.5cm ,高さ2.5cm のアクリル管 (底面に0.1mm のテトロンゴースを貼った) に移し入れ,  
薬液に10秒間浸漬した。

(注) 農薬は, 作物に登録のあるものを使用すること。